

Advanced Communication

崎山小児科 院長
SAKIYAMA Hiroshi
崎山 弘

百日咳は小学生が多く感染しているようですが、 任意で4種混合ワクチンDPT-IPVを接種してもよいでしょうか。

6歳の女子が、MRワクチン2期の接種を希望して母親とともに来院した。8歳の兄が通っている小学校で百日咳と診断されて欠席している児童がいることを知って、インターネットで調べてみたところ、任意接種ではあるが百日咳と不活化ポリオワクチンの接種を推奨するという記事を読んだ。MRワクチンとともに4種混合ワクチンを同時接種することを希望した。



医師

小学生の百日咳の患者さんが増えているのは全国的な傾向です(①)。任意接種で有料になりますが、是非受けて下さい。



医師

百日咳とは違って、ポリオはこの地域だけでなく日本全体としてみても長年発症している人はいません。しかし地球レベルではポリオは根絶されていません(②)。来年は東京オリンピックもあって世界各国から日本を訪れる人が増えます。ポリオウイルスが海外から持ち込まれる危険性もあります。また、お子様が将来、海外に出かける機会も必ずあるでしょう。世界中で多くの方が受けているワクチンですから安全性も高いですし、ポリオワクチンも受けておくことをお勧めします。



医師

残念ですが、四種混合ワクチンでの接種はできません。MRワクチンと一緒に受けてもらうのは、DPT、つまり三種混合ワクチンと不活化ポリオワクチンの2本になります。



医師

4種混合ワクチンであれば針を刺す回数が1回減って子どもにメリットがあるのに、ダメですか。

はい、私たち医療関係者も困っているのですが、これは医学的な問題ではなく、行政上のルール、取り決めなのです。



医師

どのようなルールがあるのでしょうか。



母



母



母



母



母